

群青

仙台市立第一中学校

第3学年だより

第17号 2024.12.23

「天体観測手帳」そして「双眼鏡」

8月、古川の書店で「天体観測手帳2024」を購入しました。この手帳を初めて手にしたとき、ふと、小説「天地明察」のことを思い出しました。確かな暦のなかったあの時代を思い、これだけ豊富で正確なデータに満ちたこの手帳は、江戸初期から現代に至るまで解明されてきた膨大な知識が凝縮されているのだと思いました。もっと早く手にしたかったと後悔しました。

そしてそれから間もなく、家電量販店で、夜空を覗くための「双眼鏡」を購入しました。ところが夏の夜空は想像以上に雲が多く、双眼鏡は別の場面で活躍することになりました（苦笑）。それは、吹奏楽コンクール、合唱コンクールの会場に持参し、演奏している子どもたちの表情を見ることでした。Nコンの全国大会では、緑黄色社会の演奏の場面でカメラが客席に向いた一瞬、双眼鏡でステージを見る私の姿が全国に放映されました（苦笑）。冬になって星空がきれいに見渡せるようになり、本来の目的を果たしてくれていますが、双眼鏡には本当に楽しい思いをさせてもらっています。

世の中には自分の知らない世界、楽しい何かがまだまだたくさん転がっているんだろうなとこの年になって思った2024年でした。進路実現に向けて汲々とした思いをしているであろう子どもたちに…改めて、「高校進学はゴールじゃない。君たちの人生のスタート。そして、人生はとてすばらしいものだ」そう伝えていきたいと思えます。卒業までの残りわずかな日々を、私も子どもたちとともに楽しませてもらいたいと思っています。今年も大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。そして、来る2025年もよろしくお願ひいたします。

◆「天地明察(上・下)」沖方 丁著

徳川四代将軍家綱の治世、日本独自の暦を作り上げるプロジェクトが立ち上がる。当時使われていた暦・宣明暦は正確さを失い、ずれが生じ始めていた。改暦の実行者として選ばれたのは洪川春海。碁打ちの名門に生まれた晴海は、己の境遇に飽き、算術に生き甲斐を見出していた。「この国の暦を斬ってくれぬか」会津藩藩主にして将軍家綱の後見人、保科正之から告げられた重き言葉。武家と公家、士と農、天と地を強靱な絆で結ぶこの改暦事業は、文治国家として日本が変革を遂げる象徴でもあった。洪川春海は、その後20年余りを費やしこの事業を成し遂げるのだが…その想像を絶する奮闘・挫折・喜びの物語。

ファイナンスパーク学習について

過日、お陰様をもちまして、無事にファイナンスパーク学習を終えることができました。

お忙しい中、ボランティアとしてお手伝いいただきました保護者の皆様、ボランティアさんの調整をしてくださいました学校支援地域本部スーパーバイザーの熊谷さん、清野さん、そして吉岡康則先生（元一中校長）を始めとした市教育委員会学びの連携推進室の先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

今回は、アエルでの学習に臨む前に、校内で3時間事前学習を行いました。「大人として社会で生きていくとは？」ということがファイナンスパーク学習の大きなテーマになっています。生徒一人一人に大人としての条件（年齢、結婚・子どもの有無、年収など）が設定され、子どもたちは会場内の各企業ブースから資料（商品やサービスに関する）を収集し、与えられた条件を基に、住宅費、食料費、光熱費、ローンなどの費用をやりくりします。家族の生活がより豊かになるように考えながら、1か月の生活費の支出計画を立て、最後に収入と支出のバランスを確認します。

お金（生活費）がテーマですが、事後のアンケートを見ると、親御さんに対する尊敬や感謝の思いを再認識し、大人としての自覚や責任を学ぶことができたようです。高校への出願作業と重なり、スケジュール的には大変な時期の実施でしたが、自分の進路を見つめる中での学習は、子どもたちにとってとても意義の深いものなりました。



卒業アルバム費用納入について

過日、文書でお知らせしておりましたが、卒業アルバム費用の納金が年内となっております。年末の慌ただしい折のお願いで大変恐縮しておりますが、期限内の納金をお願いします。

1月8日（水）の連絡

フォーマルウェア着用での実力考査受験になります。結果も重要視していますが、受験当日を想定し、緊張感のある中で試験に臨ませたいと考えています。よろしくお願ひします。

〔持ち物〕 □筆記用具 □タイム君 □給食の用意（白衣） □自学の準備

☆1月の天体情報☆

「天体観測手帳2025」より

- ★1日：初日の出（仙台6:53→日没16:27）
毎年、まず最初に迎える関心の高い天文現象。その時刻は毎年ほぼ変わらないが、年により数分程度前後しうることもある。また、標高が高いと日の出は早くなり日没は遅くなる。
- ★4日：しぶんぎ座流星群が極大
3大流星群のひとつであるが、活発な出現は長く続かなく、年によって大きく変わる流星群。2025年は、極大が日本時刻の午前0時頃だが、この頃は放射点（流星が放射状に飛び出してくるように見える天球上の1点）が低く、放射点が高くなる夜明け前に多くの流星が見られる。
- ★10日：金星が東方最大離角（太陽から最も遠くなる）
金星が、宵の明星として観察の際漁期を迎える。
- ★12日：火星が最接近
地球の外側を周る惑星のうち、火星は地球からの距離が大きく変化する。12日は2年2か月ぶりに地球に接近する。
- ★2025年初めから2月上旬まで、日没後の空で6惑星が一度に見られる
西方から、金星～土星～海王星～天王星～木星～火星の順で並ぶ。
- ★13日～14日：月・火星・ポルックスの集合
満月、火星、ポルックス、カストルの明るい星々が、ほぼ一晩中見られる。
- ★19日：金星と土星の接近
1月は、西南西の夕空で金星と土星が接近する。肉眼と双眼鏡で十分に楽しめる。土星も十分に明るい。宵の明星=金星はその土星の190倍も明るい。
- ★1月～3月：夕方の黄道光が観察の好期
黄道光は、夜空で最も神秘的で繊細な光景の一つ。地平線から伸びる光の円錐は、幻想的な光の柱のように見える。夕方の西空や明け方の東空黄道（太陽の通り道）付近がほんのりと明るくなる。

日	曜	朝学	I	II	III	IV	V	VI	給食	夕焼け	行事等
1	水										元日 学校閉庁日 ★
2	木										学校閉庁日
3	金										学校閉庁日
4	土										★
5	日										
6	月										御用始め
7	火										
8	水	自学	国テ	数テ	社テ	英テ	理テ	集会	○	○	実力考査 全校集会
9	木	○	1	2	3	4	5	総合	○	○	
10	金	○	1	2	3	4	5	6	○	○	★
11	土										吹奏楽アンコン県大会
12	日										★
13	月										成人の日 ★
14	火	○	1	2	3	4	5	—	○	—	松焚祭（どんと祭） ★
15	水	○	1	2	3	道徳	5	6	○	○	私立推薦等入試 拡大FCP
16	木	○	1	2	3	4	5	総合	○	○	特別支援学校入試
17	金	○	1	2	3	4	5	6	○	○	相談日
18	土										
19	日										★
20	月	○	1	2	3	4	学活	—	○	—	職員会議
21	火	○	1	2	3	4	5	総合	○	○	善導事務局会
22	水	○	1	2	3	道徳	5	—	○	—	職員会議
23	木	○	1	2	3	4	5	—	○	△	専門委員会
24	金	○	1	2	3	4	5	6	○	○	中央委員会
25	土										
26	日										
27	月	○	1	2	3	4	学活	—	○	—	職員会議
28	火	○	1	2	3	4	5	総合	○	○	
29	水	○	1	2	3	5	6	—	○	—	学年会議
30	木	—	私立入試A（受験しない人は自宅学習）								
31	金	○	1	2	3	4	5	6	○	○	

2月の主な行事

2日(日)大崎八幡宮節分祭 3日(月)私立入試（未受験者自宅学習） 4日(火)職員会議
 6・7日(期末考査) 9日(日)高専入試 10日(月)3年のみ5時限(出願書類点検)
 12日(水)調査書等作成委員会 13日(木)公立出願(3年午前限) 14日(金)職員会議
 17日(月)専門委員会 18日(火)地区巡視 19日(水)中央委員会、善導役員会
 21日(金)相談日 23日(日)【天皇誕生日】高専追試験 24日(月)振替休日
 25日(火)3年保護者会 26日(水)学年会議 27日(木)職員会議

